

自家用車での送迎が増える雨の日、十分な徐行による安全運転と速やかな降車へのご協力をお願いします。



旭小ブログほぼ毎日更新中！最新情報はブログをご覧ください！

旭の子だより

～かしこく やさしく たくましい 旭の子～ R8 No. 3 (2026. 6. 18)



「いのち」の話

～先生たちより先に死んではいけません～

校長 半田幸弘

小さいときに母から「親より先に死ぬのは親不孝、死ぬのには順番があるんだよ」とよく言われました。そんな思いを受け、命を失わないような生き方をこれまでしてきたつもりです。旭の子にも命を失うことなく22世紀まで生きてほしいとの思いで次のような話をしました。これを参考に、ぜひご家庭でも命に関わる保護者の思いを伝えてほしいと思っています。

<以下、6月9日(火)朝会の話> -----

3つの「い」の中でも大切な「いのちを大切にす」話をしたいと思います。みなさん、命はどこにありますか？自分の体で指を指して下さい。はい、ありがとう。頭を指した人、胸を指した人、体全体を指した人など、いろいろですが、よくわからないよね。なかなか、難しい問題だ。



大昔から人は命がどこにあるか、考えていました。生きている人にはドキドキ動いているものが胸の中央にある、心配ごとがあるとドキドキが強くなる、だからここに命があると考えました。ここに心臓があります。これを割るとこんな形です。これは何かの形に似ていませんか？そう、ハートです。ハートのマークは心臓から来ているのです。昔の人は心臓が命そのものと考えていたようです。今では心臓だけではなく、その人、その体すべてが命と考えることが多いです。僕もそう考えています。だから、命を傷つけるような怪我をしてほしくないし、事故に遭ってほしくないし、旭の子同士でけんかやいじめで傷つけ合うようなことをしてほしくありません。自分の命、他人の命を大切にして下さい。



命の話をすると思い出す言葉があります。私の母、お母さんがよくいていた言葉です。「親より先に死ぬのは一番の親不孝なんだよ、死ぬのには順番があるからね」と言っていました。その言葉を守って私は親より先に死んでいません。みなさんにはこんなふうに言いたいと思います「旭の子は先生たちより先に死んではいけません」もう一度いいます、「先生たちより先に死んではいけません」絶対に守って下さいね。今日もしっかり話を聞いてくれてありがとうございます。



「1年生と遊ぼう」の意義

5月19日(火)、22日(金)の20分休みに「1年生と遊ぼう」が行われました。この行事は私が大好きなものの一つです。それは6年生の子どもたちが自ら考え、様々な材料を使って、色々な工夫をした出店(でみせ)を準備し、1年生を楽しませることはもちろん、自らも楽しむからです。



学校教育の目指すところは自ら考え、主体的に物事に取り組む子を育成することです。テーマパークや遊園地のように楽しませてもらうではありません。(もちろんテーマパークや遊園地にはよさがあり僕も大好きです)「1年生と遊ぼう」の意義はそこにあり、それがみごとに示される行事です。そして5年後、6年生になった子どもたちがこれまでの学びを結集して1年生のためにがんばるのです。

子どもをたくましくする夏旅 ～我が家の子育て～

本校の学校目標の目指す児童像である「かしこく やさしく たくましい 旭の子」の中にもある「たくましい」ですが、現代社会や今の学校教育において、子どもたちがたくましくなる機会は少ないと感じています。我が家では夏休みに子どもが少しでもたくましくなるために様々な事をやってきました。あと1ヶ月ほどで夏休み。宿題を早めに片付けて夏休みにしかできない体験をしてほしいと思っています。その参考に3つの夏旅を紹介します。

<その1>165.5kmの利根川自転車旅(2泊～3泊)

利根川の自転車道には海までの距離ポストがあり、刀水橋西側には「海から165.5km」ポストがあります。これをスタートにして「海から0.00km」ポストまで自転車で川を下る旅です。1日目は約60kmを走り野田市に宿泊、2日目は約60kmほど走り香取市に宿泊。利根川周辺ではたくさんの公共工事が行われているので、それに従事する工事関係者が長期滞在する宿が多数あり、宿はその日の電話で簡単にとれました。3日目朝に香取神宮に参拝した後、約40kmを走り、銚子市の利根川河口「海から0.00kmポスト」に到着、みごと165.5kmを走破しました。そして銚子の寿司店で子どもたちの頑張りをたたえ、犬吠埼のホテルに一泊し、翌日海水浴を楽しみ、自転車3台を車に積んで一般道で太田に帰りました。自転車旅は楽しくもあり、つらくもありで、大きな成長を感じる4日間となりました。

三日目に着いたゼロキロポスト



海からの距離ポストがずっと並んでいます

<その2>道の駅「みなかみ水紀行館」裏の利根川(日帰り～1泊)

我が家は大洗の海によく行きましたが、それ以上にみなかみ町の利根川によく行きました。川の水はとてもきれいな上、海水のようにべとべとしないからです。ここで泳いだり、ボートに乗ったりするのですが、一番は飛び込みです。岩から飛び込むのですが、その子に合わせていろいろな高さに挑戦できます。はじめは怖がっていた子も慣れてくると自分からどんどん飛び込んでいきます。



岩の下に入り込まないように遠くに飛びます

ただ、監視員がいるわけではないので保護者の見守りとライフジャケットが必須です。我が家では、はじめに流されたときの心構え(抵抗せず浅瀬まで流される)や姿勢(足を川下に向ける)を確認したり、水を入れたペットボトルに紐をつないだ救助ロープを用意したりしました。水の楽しさと水の怖さ、水への対応力を身につけさせるのに最適の場所だと思います。

<その3>尾瀬ハイキング(日帰り～1泊)

4年生の教科書にも出てくる尾瀬、階段や木道が整備され、天気さえよければ、小学校入学前の子でも歩けます。ただ、悪天候になるとちょっと大変です。尾瀬ヶ原で雷雨に遭うと命の危険すら感じます。というか、実際に雷に打たれて命を失う人もいるので要注意です。山の鼻ビジターセンターから鳩待峠に戻る坂道は大雨だと川のようになることもあります。そんな目に遭わないためには天気予報に加え山小屋の人からの情報収集が大切です。これもたくましく生きるための必須事項です。山小屋に難しさを感じる人もいるかもしれませんが尾瀬の山小屋は設備や食事もよく、家族個室OKなので小学生でも安心して泊まれます。ぜひ群馬が誇る尾瀬に行ってみませんか？

誰もいない木道は親子の絆を深めます



以上、紹介しましたが、どれも娘たちが小学生の時に行った旅です。中学生になると部活動や習い事などでなかなか日程が合わなくなり、家族みんなでの夏旅は難しくなりました。机での学びはいつでもできます。ぜひ、たくましさを育む夏旅を小学生時代にしてほしいと思っています。詳細を知りたい方は遠慮なく半田までお問い合わせください。

<半田のつばやき～物価高騰がすごい！～> 昨年、かけこ教室や運動会に合わせて作った旭小オリジナルタオル。朝のさわやかな青空をイメージし、好評だった？？今年も旭の色(オレンジか黄色)で作ろうと考え、業者に問い合わせた。すると一本90円ほどの値上げとのこと。ホルムズ海峡の影響かどうかはわからないが、物価高騰の大波がここまで来ている。600本となると54,000円増。市会計やPTAからの補助金だけでは作成できそうにない。断念するしかないのが。。